

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 2	4	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 80	106	ヘルパンギーナ	↑ 8	6
咽頭結膜熱	↑ 32	27	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 2	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 70	33	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 332	284	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 18	21
水痘	↑ 26	22	細菌性髄膜炎	↓ 0	3
手足口病	↑ 41	32	無菌性髄膜炎	↑ 3	2
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発しん	↑ 44	39	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)*	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性連鎖球菌感染症

- 感染性胃腸炎 報告数:332件(前週:284件) 地区別:菊池、有明、宇城 年齢別:1歳 65件(19.6%)
- RSウイルス感染症 報告数:80件(前週:106件) 地区別:水俣、熊本市、菊池 年齢別:1歳 34件(42.5%)
- A群溶血性連鎖球菌感染症 報告数:70件(前週:33件) 地区別:菊池、宇城、人吉 年齢別:6歳 15件(21.4%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	1	39	9	21	70	5	5		9		2	1		14		3			
山鹿保健所	1		1		13	1	11						*	*					
菊池保健所		12	20	23	83	3	20		8		1			2					
阿蘇保健所				2	4								*	*					
御船保健所					8	1							*	*					
八代保健所		5			25	1	2		6										
水俣保健所		6			5				2				*	*					
人吉保健所		1		5	26	3			1				*	*					
有明保健所		7	1	2	52	1			9			1		2					
宇城保健所		8		16	35	1	1		5		1		*	*					
天草保健所		2	1	1	11	10	2		4		4						1		
計	2	80	32	70	332	26	41	0	44	0	8	2	0	18	0	3	1	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	2													1	1							
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	80	10	15	34	12	6	3															
咽頭結膜熱	32		2	9	3	2	6	3	1		1	2	3									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	70		1	3	6	8	15	4	7	10	7	1										
感染性胃腸炎	332	4	25	65	37	39	41	24	15	21	5	12	22	4	18							
水痘	26	1	1	3	5	8	5	1			1	1										
手足口病	41	1	4	14	9	7	3	1	1													
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	44	1	23	17	2	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	8			2	1	2	2		1													
流行性耳下腺炎	2					1							1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	18			2	2						1		1	1	2	5	2	2				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	3				1					2												
マイコプラズマ肺炎	1														1							
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池

早めの
インフルエンザ
対策!

だんだん寒くなり、先週から少しずつインフルエンザの報告が見られるようになりました。インフルエンザは普通の風邪と異なり、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れるのが特徴です。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。

インフルエンザを予防する方法の1つに、「流行前のワクチン接種」があります。

インフルエンザにかかる時は、インフルエンザウイルスが口や鼻から体の中に入ってくることから始まります。体の中に入ったウイルスは細胞に侵入して増殖します。この状態を「感染」といいます。ウイルスが増えると、数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛みなどのインフルエンザの症状が起ります。この状態を「発症」といいます。インフルエンザワクチンには、この発症を抑える効果が一定程度認められており、また、インフルエンザにかかった場合の重症化防止にも有効と報告されています。

インフルエンザウイルスは生後6ヶ月の赤ちゃんから接種でき、13歳未満のお子さんは2回の接種が必要です。13歳以上の方は、通常、1回の接種となっています。2回接種する場合、より免疫機能を高めるためには、3~4週間隔で接種することが最適です。インフルエンザワクチンは接種してから効果があらわれるまで2週間ほどかかり、効果は5ヶ月間程度と考えられています。県内では例年12月末からインフルエンザの流行が始まり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がります。これに備えて少なくとも12月中旬までにワクチン接種を終了できるように計画を組んでおきましょう。

また普段からできる予防対策として

- ①外出後の手洗い
- ②咳エチケット
- ③十分な休息とバランスの取れた栄養摂取を心がけておきましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvitan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課